

令和3年（2021）度 低炭素まちづくり計画（エコまち計画）の進捗状況について

【エコまち計画に定められた取組目標】

○温室効果ガス排出量 整備段階（2019年度）で一般的な街区※1に 比べ30%削減。長期的には75%削減 ※1：CASBEEの建築用途別排出原単位を参考 （計画pp36-37記載）	○上水使用量 地下水、雨水、下水酵素処理水等の利用によ る削減 （※定量的な目標値は設けず）	○緑被率 「ベース緑」+「クオリティみどり」による 評価 （地区全体）40% （緑のふれあい交流創生ゾーン1）60% （緑のふれあい交流創生ゾーン2）40% （医療健康及び教育文化創生ゾーン）35%	○総合環境性能 CASBEEによる評価でSランク
--	---	---	-----------------------------

施設名称	医療・健康及び教育文化創生ゾーン			緑のふれあい交流創生ゾーン2		緑のふれあい交流創生ゾーン1
	国立循環器病 研究センター	市立吹田市民病院	VIERRA岸辺健都	patona吹田健都	JR貨物所有地 （未施工）	健都ライブラリー
敷地面積 (㎡)	30,585.17	17,813.69	8,235.71	4,172.20	-	2983.35
延床面積 (㎡)	129,756	46,239.92	27,022.21	9,466.38	-	1859.16
緑被率 (敷地単位)	51.82%	37.00%	14.12%	30.09%	-	63.30%
ベース緑	13.08%	20.67%	12.59%	25.10%	-	17.48%
クオリティみどり	38.74%	16.33%	1.54%	4.99%	-	45.82%
（ゾーン全体）	41.68% ≥ 35% (目標)			30.09% ≤ 40% (目標)		63.30% ≥ 60% (目標)
CO2排出量※2 (t-CO2/年)	17,589	3,807	1,550	458	-	33
CO2原単位※3 (kg-CO2/年㎡)	135.55	82.33	57.38	48.36	-	17.60
一般的な街区におけるCO2原単位	264.54	190.7	78.33	53.4	-	37.4
CO2排出量削減率 (目標30%)	49%	57%	27%	9%	-	53%
上水使用量 (㎡)	71,720	43,925	42,498	12,515	-	647
総合環境性能 (CASBEE)	S	S	B+	A	-	S
節水に努めている事例等	井水：2本	井戸：1本 井水を雑用水（トイレの排水 等）に使用	自動洗浄小便器（3基）・自動 水栓（2箇所）《2階男子WC》 自動水栓（4箇所）《2階女子 WC》、雨水再利用タンク《屋外》	自動洗浄小便器（5基）・節 水型トイレタンク（111 基）、自閉水栓（8箇所）の 利用	-	建物周囲の植栽の灌水は、工 業用水を使用。
エコまち計画に記載される取組に関 連する取組や持続可能なまちとして 来訪者等へPRできる取組	-	クールヒートピットの活用、太陽 光発電、井水・雨水の利用	ソーラーウインド街路灯、スラグ 融合インターロッキング、細霧冷 房、雨水利用、駐輪場692台 分（付置義務分除く）整備、 普通型電気自動車充電スタン ド	コミュニティスペースを活用したセ ミナー開催等（現在は、コロナ感 染リスクのためイベントは自粛し ております）	-	建物壁面に緑化栽培、太陽光 発電設備、グリーンカーテン、ダ ウンライトカフェ実施

※2 各事業者からの報告値を記載（小数点第一位四捨五入）

※3 CASBEE2016（pp243-24

0

国循、市民病院の原単位は、計画p37記載の2012年原単位を2021年の最新値で換算

VIERRAの原単位は、物販、ホテル、飲食店、スポーツ施設等用途別に原単位を算出。共用・駐車場部分等該当区分がないものは事務所扱い

patona吹田健都は、集合住宅（占有部）及び事務所（事務所）、健都ライブラリーの原単位は、事務所（官公署）として算出